



平成27年8月31日

多摩市長 阿部裕行 殿

第五期多摩市自治推進委員会
委員長 安藤雄太



自治の推進に関する意見

先般、平成27年6月12日付で、別添のとおり、本委員会委員長あてに要請書が提出されました。

本要請の主旨は、市が策定した「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」について、地域にある図書館4館の廃止を含めた本計画の策定時等において、市は、地域住民や利用者の意見を聞かず、一方的に計画を決めており、自治推進の重要な拠点たる図書館の廃止を含めて、多摩市自治基本条例に違反しているのではないかというものです。

本委員会の権能としては、自治基本条例に違反しているかどうかを判断することは該当しないと考えますが、自治推進の観点から、以下のとおり意見を申し述べます。

- 1 行政の情報伝達の方法や開示方法については、市民にその内容が分かりやすく伝わるよう、さらに工夫していただきたい。
- 2 市が行政計画等を策定する際には、そのプロセスに多様な市民の意見が反映されるよう、より一層の工夫していただきたい。
- 3 市民主体の自治の推進の立場から、新しい方向性と文化的価値を創造する工夫に向けて、参加と協働の場づくりに努力していただきたい。

